

第 3 回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

- 1 開催日時 平成30年11月2日（金）午前9時45分～午前11時15分
- 2 開催場所 本館3階「特別会議室」
3. 報 告

石垣修復に向けた現状について（教育部）

＜資料に基づき説明＞

- ・ 第2回対策本部会議以降、関係省庁や地元選出国會議員へ要望活動を実施
- ・ 10/16 史跡丸亀城跡調査整備委員会の開催
（文化庁、県教委がオブザーバーとして参加）

4. 議 事

(1)各分科会でのこれまでの取組について

- ① 広報分科会
 - ・ 財政分科会、保存活用分科会に合わせて分科会を開催
 - ・ 広報まるがめ11月号で特集記事
 - ・ ホームページ等により各分科会における取組内容の情報提供
- ② 工事分科会
 - ・ 10/20 分科会開催
 - ・ 10/27 迂回園路開通
 - ・ 10/31～11/1 熊本城復旧視察
- ③ 財政分科会
 - ・ 10/11、19、24 分科会開催
 - ・ 市内13箇所に募金箱の設置
 - ・ 民間団体等に対するイベント等での臨時的募金箱の貸し出し
 - ・ 百十四銀行に寄附口座「がんばれ 丸亀城支援金」を開設 など
- ④ 保存活用分科会
 - ・ 10/17、29 分科会開催
 - ・ シンボルマークの作成（とり奉行骨付じゅうじゅう石垣修復バージョン）
 - ・ 丸亀城内各施設（天守、観光案内所、資料館）通常営業実施の告知看板を設置
 - ・ 城内予定イベントについて、崩落の影響がない旨のHP告知（広報分科会連携）
 - ・ 民間における常設用募金箱の作成 など

(議事内容)

- ・国への補助申請の状況確認⇒国の補正予算、市の補正予算の流れを整理する。
- ・寄附用口座とふるさと納税の相違点確認
返礼品の有無。また、ふるさと納税は個人のみを対象。
- ・回収した石垣の保管場所確保に向けて検討が必要
熊本城視察において、作業ヤードの広さや作業用車両の車道など城内グラウンドだけでは不十分であることを確認。
- ・観光資源としての活用と説明責任を兼ねて見学場所の取組について検討が必要
- ・市民の関心からも広報紙では毎月関連記事を掲載する。
- ・11/5 ボーリング調査結果を受け、これ以上崩れないように安定させる仮設工事を年度末目標に進める。
- ・修復工事を設計・施工分離発注とするか、デザインビルドとするかは継続協議
- ・コンストラクションマネジメントに関する民間の人材活用は、市の技術職員で対応できるため不要と考える。
- ・文化庁の指示や国庫補助要件の範囲内による工法を前提とし、人員については文化財部門の職員による対応だけでなく、合わせて民間業者への委託をうまく活用しながら、最大限の早さで修復できる計画を立てる。

(2)その他

- ・11月5日の市議会全員協議会において、本日の内容について報告予定。
- ・前回会議の議事「各々でできること」について、分科会等の協議を待たず各部の判断で対応可能なものは進め、事後に報告することとする。

5 出席状況

(1) 本部構成者（第3条）

職	氏名	出欠
市長	梶 正 治	○
副市長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	○
モーターボート 競走事業管理者	大 林 論	欠
市長公室長	山 田 理 恵 子	○
総 務 部 長	横 田 拓 也	○
健康福祉部長	窪 田 純 子	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	大喜多 章 親	○

都市整備部長	谷口信夫	○
産業文化部長	矢野浩三	○
ボートレース 事業局次長	福本泰幸	○
教育部長	川田良文	○
消防長	新井正利	代
議会事務局長	佐藤守	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井上孝敏
総務部財務課長	栗山佳子
都市整備部建設課長	亀井保
消防長代理	
消防本部総務課長	小田健二
市長公室広聴広報課長	七座武史
総務部財務課契約・検査担当長	津村潤一郎
産業文化部産業観光課副課長	平尾聖

(3) 事務局

市長公室秘書政策課長	山地幸夫
市長公室秘書政策課副課長	窪田徹也
市長公室秘書政策課主査	宇野大志郎
教育部総務課長	岸上直美
教育部総務課副課長	満尾隆弘
教育部総務課文化財保護室長	東信男